

2009年12月10日

トヨタホーム株式会社

トヨタホーム、商品を総合する名称『エコミライの家』を立ち上げ

～ 併せて、薄膜太陽電池の追加など太陽光発電を強化 ～

トヨタホーム株式会社（以下トヨタホーム）は、“地球環境に配慮した「トヨタホーム」”を表す商品の総合名称として『エコミライの家』を採用する。2010年1月から、トヨタホームの「シンセシリーズ」、「エスパシオシリーズ」全商品に使用していく。

また、『エコミライの家』の立ち上がりにあわせて、「シンセシリーズ」に薄膜太陽電池を使った太陽光発電を新たに採用するなど、太陽光発電アイテムを充実する。

（1）『エコミライの家』

トヨタホームは、2004年1月の営業開始時に、「Sincerely for You～人生をごいっしょに。～」というブランドビジョンを掲げ、お客様と長くお付き合いさせていただける企業を目指して、高品質で“安全・安心”な家づくりを進めている。このブランドビジョンを実現するための、トヨタホームの特徴を表現する商品の総合名称として、『エコミライの家』を使用していくことにした。

『エコミライの家』は、トヨタホームの先進的環境技術によって、快適でありながらも、経済的で、地球環境にも優しい住まいを表し、「省エネ・省CO₂」と「長寿命」を2本柱としている。

「省エネ・省CO₂」は、「地球に優しく、家計に優しい家」であり、トヨタホームの優れた「断熱」、「通風」、「省エネシステム」、「創エネシステム」によって、高いレベルでエネルギーの消費を削減し、CO₂の排出量も低減する。

「長寿命」は、「次の世代へ引き継いでいくことができる家」であり、トヨタホームが持つ「耐震・制震」、「耐久・可変」、「健康・快適」、「防犯」といった高い基本性能によって実現。建替えによる資源の無駄使いを抑えることで、環境に貢献する。

今後も、基本性能の向上や様々な付加価値性能を高めることで、この2本柱を進化させ、快適な暮らしができ、環境にも優しい住まいを、お客様に提供していきたいと考えている。



(2) 太陽光発電を強化

『エコミライの家』の立ち上がりにあわせて太陽光発電アイテムを充実する。

(「シンセシリーズ」が対象・オプション)

1. 薄膜太陽電池を使った太陽光発電を新規に設定、太陽光発電のバリエーションを拡大

- ・現在、住宅用には多結晶シリコンを利用した太陽電池がもっとも多く使われている。トヨタホームも、多結晶系の太陽電池を採用しているが、新たに薄膜系シリコンを使った太陽電池を採用、太陽光発電のバリエーションを増やす。
- ・薄膜系は、結晶系に比べ温度上昇による発電の損失が少ない。また、結晶系はモジュールが直列配置なのに対し、薄膜系は並列接続なので日影の影響が小さい、などの特徴がある。
- ・薄膜太陽電池は、大容量の設置が可能な陸屋根用として設定。結晶系は勾配（こうばい）屋根用とする。

2. 勾配屋根への太陽光発電設置対応力を向上

- ・結晶系太陽光発電のモジュールパターンを大幅に拡大、複雑な屋根形状でも多くの面積の太陽光発電を設置できるようにするとともに、大容量の太陽光発電の設置を可能にした。
- ・この「設置容量の拡大」と「太陽光発電の新たな買取制度」によって、約4.6kWの太陽光発電を設置すれば、年間水道光熱費実質ゼロも実現可能。



薄膜太陽電池を陸屋根に設置した住宅



複雑な形状の屋根に設置した太陽光発電

以上

※ 本内容はニュースリリース時点の内容となります。ニュースリリース以後の内容は、トヨタホーム各販売会社へご確認下さい。